

学年	高校2年	教科	国語	科目	現代文B	単位数	3
教科書名	精選 現代文B 改訂版 (大修館書店)			副教材名	新演習現代文アチーブ2(桐原書店) 読解現代文必携キーワードの卵(尚文出版) 即戦ゼミ入試頻出新国語問題総演習(桐原書店)		
コース・クラス	N進文系						

I. 目標

ビジュアルライズとロジカルシンキングにより、言語経験の幅を立体化し、難解な評論文や文学作品を解説する能力を高めることを通して、物の見方、考え方、感じ方を深いものにしてゆく。

II. 授業のねらい

- 1 言語表現の基本原則を理解し、構成、展開、要旨などを的確にとらえて評論文、随筆文を適切に読めるようにする。
- 2 文学作品の基本構造を理解し、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえて表現を味わえるようにする。
- 3 人間、社会、自然などについて書かれた文章を批評的に論じ、論理的思考力や表現力を高める。
- 4 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。
- 5 語句の意味辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。

III. 授業の進め方

- 1 難関大学入試問題などを教材とする演習授業を行う。
- 2 自らの力で文章を理解し、説明できる言語能力を養成する。
- 3 図説等の副教材を適宜活用し、確認テストを実施する。
- 4 講義形式・AL・電子黒板・ICTなど聴覚・視覚に訴えるよう、様々なツールを活用する。
- 5 学術論文や難解な文学作品などを素材として、作品批評や作品鑑賞などを行う。
- 6 語学的な知識の習得を目的とした小テストを実施する。
- 7 「文芸コンクール」に向けての学習や準備も適宜取り入れる。

IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや漢字の書き取り、作品の通読を行うこと。
- 2 授業中には、板書や必要な情報や気づいた点などをノートに書くこと。
- 3 授業中には、積極的に発言をすること。
- 4 わからない点はそのままとせず、質問や調べることで解決に努めること。
- 5 配られた資料は、ノートに貼るかファイリングをし、必ず保存管理すること。
- 6 毎時教科書、ノート、副教材を授業前に準備し、机の上に置いておくこと。
- 7 その日の授業内容は家庭で復習すること。

V. 定期試験

〈出題分野〉

- ・1学期中間試験……評論『食べ物を「はかる」』・評論『敬語への自覚、他者への自覚』・初見問題
 - ・1学期期末試験……小説『山月記』・初見問題
 - ・2学期中間試験……評論『ミロのヴィーナス』・小説『山椒魚』・初見問題
 - ・2学期期末試験……小説『こころ』・初見問題
 - ・学年末試験……評論『家族化するペット』・評論『「考える葦」であり続ける』・初見問題
- ※ 状況によって変動する場合がある。

VI. 評価の方法

- 1 定期試験・進研模試・映像授業・授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。
- 4 発表…発表原稿の作成やプレゼンテーションの下準備などを通じて論理的な思考力・表現力を養う。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	基礎学力到達度テスト演習 評論『食べ物を「はかる」』	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 意味段落の働きや具体例を手掛かりに筆者の論点を捉え、「はかる」ことの功罪について考える。 「はかる」を表す漢字を用いた熟語について調べたことを発表したり、本文の内容をふまえて考えたことを話し合ったりする。 論理の展開や要旨を叙述に即して的確にとらえる。 「敬語」と「他者への自覚」との関係を論理として読み取り、筆者の主張について、自分の意見をもつ。 漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら文学的な表現内容をとらえ、描かれた人物、情景、心情などを読み味わう。特に、自分と「自己」との関係について考える。
	5	評論『敬語への自覚、他者への自覚』		
	6	現代文必携キーワードの卵（尚文出版） 新演習現代文アチーブ2（桐原書店）		
	7	小説『山月記』 入試問題演習 現代文必携キーワードの卵（尚文出版） 新演習現代文アチーブ2（桐原書店）		
二学期	9	評論『ミロのヴィーナス』	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 腕を失ったからこそヴィーナスは美しいという逆説的な論理を理解し、評論文特有の論理構造に習熟する。 読み取ったことをふまえ、テーマを決めて美術作品について論じる。 人間の生きる苦しみを山椒魚の姿を通して詩歌を音読することで、その独特のリズムを味わう。山椒魚や小エビの行動や心理の変化を正確に把握し、寓話的な話のおもしろさを味わう。 表現における技法、表現の特色などに注目して、作者の想像力や表現力を理解し、鑑賞する。 時代背景を踏まえて、作者の思想、感覚を理解する。 描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、小説の鑑賞力を培い、おもしろさを味わう。 夏目漱石の生涯が小説とどのように関係しているのか、文献や「こころ」以外の小説から考察する。 先生の手紙の意味について時代背景を踏まえて理解し、森鷗外の『阿部一族』や武者小路実篤ら白樺派の漱石批判などと比較する。
	10	小説『山椒魚』 入試問題演習 現代文必携キーワードの卵（尚文出版） 新演習現代文アチーブ2（桐原書店）		
	11	小説『こころ』 入試問題演習 現代文必携キーワードの卵（尚文出版）		
	12	新演習現代文アチーブ2（桐原書店）		
三学期	1	評論『家族化するペット』	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ペットの家族化が示す現代社会の様相について読み取る。 読み取ったことをふまえて、社会の変化に対する自分の考えをまとめる。 筆者のあげる具体例の内容と、筆者のものの見方、考え方との関係を追究し、評論文の特徴を理解する。 情報やメディアに対する理解を深め、「考える」ことを通して自己や社会に対する認識を深化させる
	2	評論『「考える葦」であり続ける』		
	3	※基礎学力到達度テスト対策演習		

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。